



上向台小だより

9月号

西東京市立上向台小学校

令和7年9月1日

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai>

過去と今を重ねて見つめる

～未来を切り拓く子どもたちに必要な資質・能力とは～ 校長 酒見 裕子

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。子どもたちは様々な夏の体験を楽しそうに語ってくれました。夏休みならではの貴重な経験が、子どもたちに豊かな学びをもたらしたことと思います。各御家庭での御支援に感謝申し上げます。

さて、今年は戦後80年という大きな節目の年に当たります。皆さんの中にも「戦後80年」に関する特集番組やニュースを御覧になった方が多くいらっしゃるのではないのでしょうか。私は、NHKスペシャル「シミュレーション～昭和16年夏の敗戦～」という番組を見ました。ドラマ仕立てで描かれたその内容は、もし当時、日本が冷静に国力や国際情勢を分析していたらどんな判断ができたのかを問い直すものでした。「もし違う選択をしていたら」という思いと同時に、「なぜ現実を直視できなかったのか」という問いが胸に迫ってきました。

戦争が始まったのは昭和16年12月ですが、その年の夏の時点で日本と諸外国との国力の差は明らかだったとのこと。それにも関わらず、「精神力があれば勝てる」といった楽観論が支配し、異論は排除されました。そこには「同調圧力」が強く働き、異なる考えを受け入れず、失敗を振り返り修正することもできませんでした。

一方で、厳しい時代の中でも真剣に議論し、未来をどう切り拓いていくか模索する若者の姿も描かれていました。その姿は、現実を直視し、自分の考えをもち、仲間と共に考えようとする希望の光として心に残りました。

そして現代。私は夏休みに生成AIに関する研修での学びを通して若者の頑張りを知りました。今、世界では生成AIを活用したスタートアップや新しいサービスの開発に、多くの若者が挑戦しています。彼らは大きな資本や有名企業に属しているわけではありません。しかし、小さなチームでもAIを使いこなし、教育や医療の現場を変える取り組み、芸術やデザインの新しい表現、人々の働き方を効率化するサービスなど、多彩な価値を生み出しています。彼らに共通しているのは、変化を恐れず柔軟に学び続ける姿勢、そして周囲の「まだ無理だ」という空気に飲み込まれない強さです。新しい技術は常に疑いの目で見られるものですが、その声に同調するだけでは未来は切り拓けません。大切なのは、自分の目で現実を確かめ、仲間と力を合わせて挑戦を続ける姿勢です。これはまさに、戦時中の日本が欠いていた力でもあります。それと同時にドラマの中で必死に議論していた若者の姿とも重なりました。

それでは、これから生きる子どもたちには、どのような力を育てていくべきでしょうか。

①「事実や情報を的確に理解し、活用する力」

歴史を学ぶことは出発点です。昭和16年に日本が冷静な判断を失ったように、時代の変化に

目を背ければ、同じ過ちを繰り返します。インターネットには無数の情報が飛び交いますが、真偽を見極め、事実を基に考える力を養っていきたいと考えます。

②「自分の考えをもち、多様な考えを尊重しつつ表現する力」

学級の中でも、周囲の意見に合わせがちな場面は多くあります。しかし「私はこう思う」と言える経験が、社会全体を健全に保つ基盤になります。学校では、子どもたちが安心して意見を出せる雰囲気を大切にしていきたいです。

③「課題を見だし、新たな価値を創造する力」

生成AIの時代、人間が担うべき役割は「新しい問いを立てること」や「新しい価値をつくること」です。AIは過去のデータから答えを出すことは得意ですが、人の心を動かす表現や、誰も見付けていない課題への解決策を考えることは、まだ難しいようです。探究的な学びや表現活動を通して、人間の方が得意な力を育てていきたいと考えます。

④「他者と協働して課題を解決する力」

戦時中の日本は多様な意見を受け入れず、一つの方向へと突き進みました。しかし現代のスタートアップでは、異なる国籍や経験をもつ人々が協力し、新しい価値を生み出しています。違いを尊重し合うことこそが、社会を前進させる力になるのです。

⑤「自己の学習活動や生活を振り返り、次に生かす力」

生成AIや新しいビジネスの挑戦は失敗の連続ですが、その一つ一つから学び、次につなげることで成果が生まれます。ドラマでも、取り返しのつかない犠牲につながったのは、失敗を認めず修正できなかったからと描かれていました。このようなことから、子どもたちが挑戦を恐れず、失敗を成長の糧にできる環境をつくることが、私たち大人の役割だと考えます。

本校では、「予測困難な時代において、よい変化を起こそうと、自ら課題を設定し振り返り、責任をもって行動する力を育むこと」を教育目標の理念としています。子どもたちが、失敗を恐れず、自分の力を信じ、未来を切り拓いていけるよう、日々の学びや行事に向けた取組等の中で支援していきたいと思います。

この夏、戦争時代の若者たちが必死に未来を模索し、議論を重ねていたこと、そして現代では、生成AIを活用する若者たちが挑戦を続けていることを知りました。過去と今を重ね合わせることで、子どもたちに育てたい力がより鮮明になりました。

これからも、過去から学び、今を大切にしながら、未来を切り拓く子どもたちの成長を、学校と共に支えていただければ幸いです。

2学期もどうぞよろしくお願いいたします。